

## 家庭科部会

菊 地 英 明

### 1. 部会の構成と主な活動

家庭科部会は、日本教育大学協会規約第2条による大学・学部の附属学校に所属する家庭科担当教員(平成30年度は140名)で構成されている。また、部会員は家庭科部門にも所属しており、大学教員とも連携を図っている。

主な活動は、例年8月に開催されている全国家庭科部門大会と同日に行われる全国家庭科部会である。参加した附属学校教員による実践報告や情報交換を行っている。

### 2. 平成30年度の活動

平成30年度は、8月23日に山形テルサにておこなわれた。今年度は附属学校教員11名の他に大学教員も3名が参加した。

実践報告では、現代的課題に対応したもの、教科横断的なもの、日本文化の継承を扱ったもの、実験・実習・体験などを取り入れて科学的な理解を深めていくもの、授業だけではなく生活の中でも実践が行われるように工夫されたものなど、新学習指導要領で示されている内容にも沿うものが多く報告された。

それぞれの教員が持ち寄った資料も多く、充実した情報交換の場となった。

参加した教員からは、他附属との情報交換の場がなかなかないため、今後もこのような会に積極的に参加したいとの声が多く聞かれた。また、各附属学校全てに家庭科が専門の教員がいるというわけではない現状で、このような附属学校の教員が集まる機会というのは重要だ、との意見もあった。

家庭科部会の開催にあたっては、大学の先生方にご協力をいただき、数年前より家庭科部門大会の案内の発送に合わせて家庭科部会の案内の発送をお願いしている。これにより家庭科部会への参加者が増加傾向にある。一方、特に自治体との人事交流を行っている附属学校の家庭科担当教員の中には家庭科部門や家庭科部会の存在や活動について知る機会がない教員もいることが指摘されている。今年度は部門大会に参加した附属学校教員の殆どが家庭科部会にも参加した。今後も大学の先生方から附属学校教員への参加の呼びかけについてご協力いただきたい。

来年度は8月21日・22日にホテルセントヒル長崎で全国家庭科部門大会が行われ、その日程の中で家庭科部会も行われる予定である。今年度以上に多くの先生方にご参加いただきさらなる有意義な会としたい。

(東京学芸大学附属国際中等教育学校 教諭)